

世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資について

～世界最大となる 500 百万米ドルの投資を通じ、フードロス問題の解決に貢献～



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下“当金庫”）は、世界的課題となっている食品ロス・廃棄問題（以下“フードロス問題”）への対処を推進する世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行、IBRD）の取り組みに賛同し、同行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへ 500 百万米ドルの投資を実施しましたのでお知らせ致します。本債券は、フードロス問題の解決を重点テーマとしており、本テーマで世界銀行が発行する債券としては世界最大額となります。

当金庫は、農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが、農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環とともにあることを認識したうえで、環境・社会課題の解決を通じ、農林水産業を含む社会、そして当金庫の事業活動が持続可能なものとなるよう、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進しています。

本投資は、開発途上国のフードロス問題をはじめとした各種課題の解決のみならず、温室効果ガスの排出削減(※)を通じた気候変動対策にも貢献するものです。また、国際分散投資を通じた安定的な収益の確保に資するとともに、当金庫の目指すサステナブル経営の理念にも合致するものと考えております。

当金庫は、目指す姿である「農林水産業の食と地域の暮らしを支えるリーディングバンク」の実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

(※) フードロス問題を起因とする CO2 排出量は、世界の総排出量 8% を占めます。これは、各国別の総排出量と比較した場合、第 3 位のインドや第 5 位の日本を上回る規模となっています。

（出所：FAO(国連食糧農業機関)2015年レポート）

○ 本債券の発行概要

発行体	国際復興開発銀行（長期債務格付：S&P “AAA”、Moody’s “Aaa”）
発行額	500 百万米ドル（約 535 億円）

○ 世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドについて

世界銀行は世界最大の国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。世界銀行は 2030 年までに「極度の貧困を撲滅」し、「繁栄の共有の促進」を持続可能な形で実現することを使命としており、この 2 つの目標は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」とも連携しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 総務部広報企画班（大谷、藤井）TEL:03-5222-2017